

親の背中見える家庭に／大人は忙しすぎる

「見つめようあなたの家庭 豊かなこころを育む場ですか」をテーマに「こころを育む総合フォーラム・全国キャラバン四国大会」(香川学会主催、松下教育研究財団など共催)が十九日、高松市玉藻町のアルファあなぶきホールで開かれた。約五百人が、宗教学者で国際日本文化研究センター名誉教授の山折哲雄さんの講演やパネルディスカッションなどを通し、家庭の在り方や役割、豊かな心とは何かを考えた。

高松で「こころを育むフォーラム」

山折哲雄さんら持論

「子どもの笑顔は宝物で「すか」と題して講演基調にす！ 家庭に笑顔はありま 立った山折さんは、実は子



こころを育む場としての家庭の在り方を考えたフォーラム
—高松市玉藻町、アルファあなぶきホール

どもが苦手だったと告白。「子どもたちを愛し、子どもと手まりなどでよく遊んだという(江戸時代の僧)良寛のような人物が地域の共同体に必要。皆さんにはぜひ、地域の良寛さんになってほしい」と訴えた。

引き続き、山折さん、松下教育研究財団理事長で元文部科学大臣の遠山敦子さん、「虹の部屋」室長の植田昌史さん、放送大学客員教授の小柳晴生さんがパネルディスカッション。「親の背中が見えないと子ども

は笑顔になれないのではないか」(山折さん)、「自尊心を持ち、生かされていることに感謝の心を」(遠山さん)、「美しい心と耐える力を子どもたちに伝えたい」(植田さん)、「家庭の教育力が低下したのではなく、いまの大人たちが忙しすぎるのが問題」(小柳さん)などの意見が交わされた。

こころを育む総合フォーラムは二〇〇五年四月、遠山さんの呼び掛けで日本人の心の問題を考えようと、経済界や学界の有識者ら十六人で設立。山折さんが座長を務めている。本年度から運動を広げようと全国キャラバンに取り組むことになり、そのトップを切つて四国大会が実現した。二十

四日には北見市で北海道大会が行われる。